



## 第2章 まちづくりの基本理念と目標

---

## 第2章 まちづくりの基本理念と目標

### 1. まちづくりの基本理念

『まちづくり』とは、まちに起きる様々な問題をまちの人々が自ら考え、協力しあって解決していく取り組みの過程をいいます。『まちづくりの基本理念』は、そのプロセスを支えるための基本的な考え、姿勢を示したものです。これからの深沢地域のまちの進路を示した羅針盤として、市民みなが共有し、長い時間をかけて進めていくまちづくりの指針となるものです。

本計画では、「鎌倉の新しい拠点」の実現に向け、深沢地域の新しいまちづくりの基本理念を次のように定めます。

住宅・商業・工業等が共存し、健康な暮らし、ゆとりある心、人間らしいふれあい、地域の活力を生み出す『健やかで活力ある都心』、緑と水に囲まれた『輝く杜<sup>もり</sup>の都心』の創造をめざします。

- ・ それは、深沢の歴史と文化を土壌として、花・風・空・富士・光・四季の薫りや人々の弾む声があふれた、そんな暮らしと自然が互いに響きあう都市をつくることから始まる。
- ・ それは、住まいと暮らしをまちづくりの原点として、快適に住まい、働き、学び、助けあう、そんな健やかで多様なライフスタイルを育む環境をつくることから始まる。
- ・ それは、市民が自らの暮らし方に責任をもち、自らまちづくりを考え、自ら行動することから始まる。また、それは、行政主導型のまちづくりから、市民、NPO、事業者（民間企業、商業者、農業者等）行政等の能動的な参加と責任ある協働によるまちづくりから始まる。

#### まちづくりのテーマ：『ウェルネス』

これは「人・都市・社会にとって非常に好ましい総合的な健康社会をめざすこと」を意味します。

私たちは、高度情報化などによる便利さを享受しながら、同時に自然や人とのふれあいを大事にし、人口減少や少子高齢化に伴うライフスタイルの変化にも対応した、持続可能な健全な都市づくりをめざします。

また、市民一人ひとりが心身ともに健康であり、ゆとりのある心を持って地域や人々と交わり、豊かな都市生活をおくることにより、総合的な健康社会の実現をめざします。

## 2. まちづくりの目標

ここでは、基本理念を実現させるための具体的な目標を定めます。

### 1) 深沢地域の歴史と文化のもと、未来へ向けて発信する新しい拠点づくり

深沢地域の史跡や集落、民家などの既存の魅力を継承するとともに、市民自らが地域を知り、学び、生活に生かしながら、深沢地域の文化を創出していきます。

また、深沢地域の歴史と文化のもとに、それらを支える“場”の創出と、情報ネットワークなどの基盤整備を行うことで、生活と文化を向上させ、市域や近隣市との交流はもとより、日本、さらには世界とも交流を図ることをめざします。

そのために、旧国鉄清算事業団用地やJR大船工場用地などを一体化し多様な機能を導入することで、新しい文化を発信する鎌倉の第三の拠点づくりをめざします。

### 2) 住まいと暮らしを計画の中心にすえ、 助けあい、支えあえる暮らしのしくみを築く

良好な居住環境の整備とともに積極的に良質な住宅の供給を行うことで、少子高齢化に対応し、若年ファミリー層をはじめ、若年世代から高齢世代まで多世代が健康で快適に暮らし続けることのできる環境づくりをめざします。

また、それぞれの人のライフスタイルにあった多様な施設、多様なサービス機能、交流する場などを提供するとともに、暮らしを支えてきた地域コミュニティを継承・発展させて、互いが助け合い、支えあえる暮らしの“しくみ”を構築することで、子どもから高齢者まで様々な人が安心して快適に暮らせる地域づくりをめざします。

### 3) 災害や犯罪に強い、安全で安心な都市をめざすとともに、 緑と水辺空間を都市の骨格とした循環型のまちを創る

防災拠点や避難路の整備、防災情報システムの整備等の各種の防災対策を計画的、かつ総合的に実施することで、地震や火災などの災害に強い、安全で安心して暮らせる地域づくりをめざします。また、犯罪者を寄せ付けない都市整備や地域コミュニティを生かした防犯対策を進めることで、犯罪に強い安心して暮らせる地域づくりをめざします。

さらに、市民や街を訪れる人の消費活動を環境への負荷の少ないものへ誘導し、社会経済活動や産業活動を循環型に変えていくとともに、市街地を取り囲む緑や地域内の河川を保全し育成していくことで、緑と水辺空間を骨格とした人と自然が共生できる循環型のまちづくりをめざします。

#### 4) 21世紀にふさわしい都市型産業の発展とIT化まちづくりをめざす

深沢地域、さらには鎌倉を支える既存の産業等を基盤とし、新たな都市型産業等の導入、並びにこれらの産業を支える社会基盤づくりを行うことで、21世紀にふさわしい都市型産業<sup>6</sup>の発展をめざします。

また、少子高齢化や価値観の多様化など社会情勢の変化に対応するため、IT<sup>7</sup>を活かして、健康・福祉・医療・防犯・交通・防災・商業・コミュニティ活動・地域産業・文化・教育・環境・まちづくりなど、多岐に渡る情報を集約・発信並びに情報の相互交流を行うことで、安全・安心な暮らし、暮らしの質の向上、地域社会の活性化、市民参画によるまちづくりの実現をめざします。

#### 5) まちをプロデュースする

『まちづくりの基本理念』を実現するまちづくりに向けて、行政だけではなく、市民や事業者など多様な人々と協力しながら新しいことにチャレンジするなど、都市経営的観点から、まち全体をプロデュースしていきます。

6 都市型産業：人口や産業が集積している都市に立地する産業のこと。ここでは、労働集約的な産業ではなく、知識・技術集積型の産業を意味する。（研究開発型等）

7 I T：情報技術。情報通信技術からその応用利用場面まで広く使用され、コンピューターやインターネットの進化と広がりによって工学的技術から企画経営、人文・社会科学、コミュニケーションまでその応用範囲を広げている技術・手法の総称。